



大学図書館問題研究会京都地域グループ 第 43 回京都地域グループ総会のご案内

大図研京都地域グループ会員の皆様へ

地域グループ総会を下記の要領で開催します。皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

記

日 時：2020年8月7日（金）
総 会：19:00～20:00
会 場：オンライン開催（Zoom）

※ 20:00～ 情報交換会（Zoom）を開催いたします。

参加をご希望の方は、Zoom のミーティング ID と PW をお伝えしますので、
下記アドレスまで、ご連絡ください。

kyoto@daitoken.com

[目 次]

大学図書館問題研究会京都地域グループ第 43 回京都地域グループ総会のご案内	…	1
大学図書館問題研究会京都地域グループ第 43 回京都地域グループ総会議案	…	2
会費ご納入のお願い	…	6

○ ご意見・ご要望、投稿は下記、電子メールまたは URL へお寄せください。

電子メール：kyoto@daitoken.com （大学図書館問題研究会京都地域グループ）

URL：http://www.daitoken.com/kyoto/index.htm

【第1号議案】

2019/2020 年度(2019.7～2020.6)活動総括及び 2020/2021 年度(2020.7～2021.6)活動方針

大学図書館問題研究会京都地域グループ

第43回京都地域グループ総会議案

1.2019/2020 年度総括

(1) 研究交流活動

1) 企画担当スタッフの強化

2019/2020 年の取り組み強化として、企画担当スタッフ1名を目標通り増強しました。

2) 実施した企画

名称：「メディアドクター研究会 in 京都 テーマ：iPS 細胞と臨床試験」

日時：2019 年 10 月 27 日（日）

会場：京都府立図書館 2 階ナレッジベース

参加者数：28 人

メディアドクター研究会（医療に関するメディア報道のあり方を勉強する会）の協力を頂きながら、開催しました。記事を読み、信頼性、科学的根拠（エビデンス）、見出しの適切性など、情報を読み解く力・見極める力・伝える力を身につけるために、私たちにどのようなことができるでしょうか。さまざまな立場の方が、話し合い、語らいながら医療や健康情報について考えることができました。

3) 新型コロナウイルス拡大防止の影響

「DH でかわる大学図書館の研究支援（仮）」を立命館大学アトリサーチセンターのご協力も得て、3 月末に開催の準備をし、いざ情宣を開始しようとした段階で、今回の新型コロナウイルス騒ぎで、急遽開催を中止といたしました。準備に携わった多くの関係者の方々に、この場を借りてお詫び申し上げます。また本来なら 6 月～7 月に開催を予定していた企画も、この新型コロナ拡大防止関連で十分な議論もできないまま今に至っています。

一昨年、企画が十分にできていないことが京都地域グループの多くの取り組みに少なからず影響があることがわかり、しっかりとした取り組みをする予定でしたので残念です。

(2) グループ報

2019 年度刊行分につきましては、計画的発行を目指し編集作業を行いました。大幅な発行遅延やそれに伴って合併号として刊行する号がありました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、集合する必要があるグループ報発送作業を停止し、グループ報 No.334-335 合併号および No.336 号については、電子的送信を行いました。

2019 年度発行したグループ報の目次は、次のとおりです。

1) グループ報 No.331 (2019/08/15 発行)

- ・大図研京都ワンディセミナー「メディアドクター研究会 in 京都 テーマ：iPS 細胞と臨床試験」のご案内
- ・大学図書館問題研究会京都地域グループ第 42 回京都地域グループ総会議案
- ・第 1 号議案
- ・第 2 号議案
- ・第 3 号議案
- ・議事メモ・補足事項
- ・会費ご納入のお願い

2) グループ報 No.332 (2019/10/15 発行)

- ・大図研京都ワンディセミナー「メディアドクター研究会 in 京都 テーマ：iPS 細胞と臨床試験」終了しました
- ・グループ委員 挨拶
- ・会費ご納入のお願い

3) グループ報 No.333 (2019/12/15 発行)

- ・大図研京都地域グループ忘年会 終了しました
- ・大図研京都ワンディセミナー「メディアドクター研究会 in 京都：iPS 細胞と臨床試験」参加記 (川野 眞樹)
- ・大図研京都ワンディセミナー「メディアドクター研究会 in 京都 テーマ：iPS 細胞と臨床試験」参加報告 (前田 貴代)
- ・会員名簿情報ご確認のお願い
- ・会費ご納入のお願い

4) グループ報 No.334-335 (2020/2/15-2020/4/15 発行)

- ・第 51 回 全国大会のオンライン形式での実施について (お知らせ)
- ・図書館外にあるラーニングコモンズの環境作り?電子コンテンツの活用事例 (安東 正玄)
- ・遠隔授業における著作権について
- ・会員名簿情報ご確認のお願い
- ・会費ご納入のお願い

5) グループ報 No.336 (2020/6/15 発行)

- ・大学図書館問題研究会京都地域グループ第 43 回京都地域グループ総会のご案内
- ・大学図書館問題研究会京都地域グループ第 43 回京都地域グループ総会議案
- ・会費ご納入のお願い

(3) Web サイト、メーリングリスト、メールマガジン

Web サイトに、イベントのお知らせや、グループ委員会の報告等、グループ活動の記録を掲載しました。また、グループ委員で使用しているグループウェアのサービスの終了を受け、代替のグループウェアを検討し、移行しました。

メールマガジンは、「大図研京都地域グループ News Letter」として、no. 266 (2019 年 8 月 2 日) から no.269 (2020 年 5 月 8 日) を発行しました。グループ活動をお知らせするものとして、グループ委員会議事録、グループ企画案内を紹介する

記事を配信しています。また、図書館関係のイベント案内を不定期で配信いたしました。さらに Twitter の活用を図り、755 アカウントのフォロワーを得ています。

忘年会やワンディセミナーの告知、グループ報発行の広報を行うとともに、他の地域グループのツイート等も積極的にリツイートいたしました。

(4) 組織活動

52 名の地域グループ会員の皆様に支えていただき活動しました。

2019/2020 年度は退会者が 2 名、また新規入会者は 0 名でした。

ワンディセミナーは多くの非会員に対して大図研や京都地域の活動をアピールする場でもあり、会員獲得に努めましたが、引き続き次期に課題を残す結果となりました。

(5) 財務

今年度は活発な研究交流企画実施のため、多くの研究交流会費を計上しましたが、新型コロナウイルス感染症によるセミナー企画延期など執行が進みませんでした。

また、グループ報の電子的送信など発送経費が圧縮されました。

(6) 広報とデザイン

大図研京都ワンディセミナー「メディアドクター研究会 in 京都 テーマ：iPS 細胞と臨床試験」のポスターを作成し、Web サイトを活用して広報・周知に努めました。

2. 2020/2021 年度活動方針

(1) 研究交流活動

会員の発表の場としての研究交流活動の企画に積極的に取り組みます。

会員の知的交流の場であると共に非会員への広報でもあるという意味を再認識し、組織拡大への貢献も大きな柱といたします。

勉強会的な企画だけでなく、交流を軸とした企画も検討し、年 2 回程度は開催できるようにします。

ウィズコロナ（アフターコロナ）も考慮し、Web 会議方式での開催も検討していきたいと思います。また、新型コロナウイルスの影響で開催中止となった企画についても、再度調整をしていきたいと思います。

(2) グループ報

グループ報編集担当だけでなく、グループ委員会全体で年間の発行スケジュールを計画し、紙面構成や特集、連載記事の企画を検討します。定期発行を心掛けるとともに、引き続き広く寄稿を求め、今後も、会員の皆さまへの情報提供・会員間での情報共有を目標とし、内容の充実に努めます。

(3) Web サイト、メーリングリスト、メールマガジン

Web サイトを随時更新することで、京都地域グループが主催・共催する種々の活動情報や電子化されたグループ報記事を迅速に提供します。その他のコンテンツの拡充に

についても継続して検討していきます。

また、メールマガジンについて、2019/2020年度は定期的な News Letter の配信が滞ってしまいましたので、配信の内容やタイミングについて検討するとともに、より読まれるような内容にする工夫を継続いたします。同時に、メーリングリスト"ゆりかもめ"についてもその目的である「会員相互の親睦と交流を盛んにすること」の達成を目指し、会員による自由な投稿を促進するよう検討を重ねます。

さらに広報活動の一環として Twitter アカウントの積極的活用を継続します。

(4) 組織活動

ワンディセミナー、各種イベント、グループ報、ホームページ、メールマガジン、SNS 等を通じ、京都地域の持つ魅力を認識し、高め、入会者が大図研京都地域グループに在籍していることにより一層価値が見いだせるような活動を行います。特にウィズコロナ（アフターコロナ）を考慮し、集合しなくともグループに所属しているメリットを感じられるような活動を推進します。

(5) 財務

今後も活発な研究交流企画実施のため、多くの研究交流会費を計上します。また、執行が遅れております事業の執行を促します。

ウィズコロナ（アフターコロナ）を考慮し、Web 会議方式での開催によるセミナー会場費等の見直し、グループ報の電子的送信など経費に関わる部分の検討を進めます。

(6) 広報とデザイン

ワンディセミナー等において、引き続きポスター・チラシ作成等の広報活動に努めます。今後も特定の委員に業務が集中しないよう体制の見直しを検討し、さらに効果的な広報を目指します。

◇ 会費ご納入のお願い ◇

会員のみなさまにおかれましてはご健勝のことと存じます。

2016/2017年度(2016年7月～2017年6月)より、大学図書館問題研究会会費は、すべての会員の皆さまに、直接大学図書館問題研究会事務局へご納入いただくこととなりました。

一括徴収方式に移行し、4年目となりますが、京都地域グループは年度継続の前に会費をご納入いただく前納があまり進んでいない状況でございます。ワンデイセミナーやグループ報は京都地域グループ費により開催・発行させていただいております。ご多忙のところ大変恐縮ですが、会費のご納入のほどよろしく願いいたします。

会費は、¥7,000(大図研会費：¥5,000+京都地域グループ費：¥2,000)/年度です。

【振込先】

郵便局 00190-2-79769 大学図書館問題研究会

■銀行名 ゆうちょ銀行 ■金融機関コード 9900 ■店番 019
■預金種目 当座 ■店名 〇一九(ゼロイチキューウ店) ■口座番号 0079769

ご不明な点は大学図書館問題研究会事務局(会費担当)(kaihi@daitoken.com)までご連絡ください。

※ 学生会員制度(試行)として、学生の方には特典をお渡ししております。

詳細は京都地域グループ Web サイトの「学生会員制度の試行について」をご覧ください。